

---

# 寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

蠅の魔王

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

### 【NNコード】

N8067Z

### 【作者名】

蠅の魔王

### 【あらすじ】

転生に興味があった少年は、神の悪ふざけで作ったサイトをクリックしてしまった。

神の娘という女神から授かつた、珍しいあるチート能力で半ば流れながら原作介入を開始する。  
…という感じのテンプレです。

キャラ崩壊、原作破壊、ご都合主義、オリ主最強等が含まれます。

## プロローグ（前書き）

転生に興味があった少年は、神の悪ふざけで作ったサイトをクリックしてしまった。

神の娘という女神から授かつた、珍しいあるチート能力で半ば流れながら原作介入を開始する。

…という感じのテンプレです。

キャラ崩壊、原作破壊、ご都合主義、オリ主最強等が含まれます。

## プロローグ

「いつも、皆さんおはようばんちわ。

あれ？声が小さいぞ？ さあもつ一度、おはこんばんちわ～！～え？ふざけたくも、もとい現実逃避したくなりますよ。

だつて、真っ白い空間にいつのまにかいて、目の前に土下座する爺ジジイと頭下げてる美人がいるんですよ。

はて、なんでこんな事になつてゐるやう、といあえず、布団に潜つたのは覚えているんですよ。

では、原因は寝る前？ 少し思い返してみよつ。

つ、その前に自己紹介を。

どうも俺はアニメ、漫画、ラノベが大好きなオタク少年の高校生、葵 翔と申します。

……言つてて空しくなるね、こりや。

まあ、気を取り直して、確か寝る前は口課の一<sup>じ</sup>次創作漁りしてて……あ！？ もしかしてあの怪しいサイトか？

（回想）

「ふ～、新作はなし、田舎らしい作品の更新も確認済みつと。」

そう言いながら俺はパソコンの電源を落とそうとする。

すると、勝手に新しいウインドウが開き、どう見ても個人サイト見

たいのが出てくる。

「む？ 何々…【転生しゅみれーたー】って片仮名にしてたわよ。」  
何や？ “転生後の姿” やり “欲しいチート能力” やり書いてある  
な…

ん？ 転生先はランダムです。能力の数もこのサイトを開いた際、ランダムで決まります。…と。

「凝つてんなー、てか俺能力一個かよ。運悪いなー。」

ふむ、恐らく悪ふざけだと思つが… たとえ今死んでも親は死んでて、  
友達もいない。悔いはないな。  
てか、寂しいな俺。まあいいか。

「ふむふむ、まず容姿は…『境界線上のホライゾンのトゥーサン・  
ネシンバラ』、と」

あいつ、結構好きなんだよなー 中一だけど。イケメンだけど。嫁持  
ちだけど。

「能力は…普通『王の財宝』とか『無限の剣製』とか『直死の魔眼』  
だろうけど…」

普通では面白くないーーこーはネタで行つてみるか…

「『寸鉄殺人』、と」  
ペコルボイン

いや、良くなー？ なんたつて “零崎最強の男” の一つ名だよ。  
それに、一つ名を入れれば、身体能力とかも手に入りそうだし…。

「んじや、『決定』と。」

『決定』の部分をクリックすると、勝手にパソコンの電源が落ちる。  
こりや、期待できるかも。

そうして俺は布団に潜るのだった。

（回想 終わり）

……本当だつたのかあ……。

と。んじや、この爺と別嬪さんは

「あの……、説明お願ひできますか。」

「そう聞くと女人人が早口で説明してくれた。

「本当、すいませんでした。何か家の馬鹿親爺が最近流行つてゐるからって適当に見つけたあなたを殺して漫画の世界に転生させようとしたんです……。あたしが見つけた時には、既にあなたを殺して、輪廻の輪から絶対神権限で魂をここに持つてきてしまつて……。」

「

この爺、絶対神か……てか、流行つてんのかよ、一次転生。

「あの……何か……すいませんでした……」  
てかこの爺泣いてるし。やはり女は強し、か。

「あの、顔上げてください。別に怒つてないんで。」  
逆に嬉しいよ、転生できるし、美人さんと会えたし。

「／＼ま。」

あれ、女神さん顔赤くしてんだけど……え、もしかして  
「すいません。一応神なので……ありがとうございます。／＼／＼  
＼＼＼＼！ナンテコツタ。

「／＼／＼あの……それで、もつ転生するしかないのですが……  
大丈夫ですか？」

「ああ、大丈夫です。やはり、あの質問の内容で？」

「はい、もつすでにコレが扉ゲートを開いてしまつていて……私はコレほど権限がないので……」

「うわ、コレ扱いだよ、この爺。

「あの……何か……すいませんでした……」

「てか、ずっと言い続けてないか？田が虚ろだし……。

まあ、とりあえず、あの扉ゲートを通ればいいのだろう。

「あの、それじゃあ行ってきます。」

「はい。お気ヒミツをつけて。私の権限でできる分だけオマケしておきま  
すので。」

その言葉を背中ヒミツに受けながら、俺は扉ゲートをくぐり、くぐった瞬間、意  
識を失つたのだった。

## 主人公設定

主人公設定（F a t e風）

名前 葵 翔あおい しょう

性別 男

年齢 17歳（肉体年齢）

身長・体重 175cm・65kg

属性 混沌・善

ステータス

筋力 B（ラカンがA）

俊敏 A

耐久 C

魔力 B（ナギ・ネギがA）  
幸運 A+（女神の加護）  
宝具 A+（女神のおまけ）

## スキル

寸鉄殺人ペリルポイント

A+

“零崎一賊最強の男”零崎常識の二つ名。

ネギま！世界では零崎常識の戦闘方法、および技術が一部ネギまスキル

！世界風に改竄 され、  
咸卦法に並ぶ究極技法とされている。  
ネギま！世界では失われた技。

暗器使い マジシャン A

体中いたるところに暗器や武器をしまえる技術。

体積上ありえない大きさの武器を無数に隠し持てるため、技術を通り越して時空魔法の一種とも言わ れている。相当のレアスキル。

魔眼 マジック B

敵の急所・気や魔力の薄い箇所・術式の綻びを見ることができる魔眼。

イメージ的には直死の魔眼の死の点のみ、的な感じ。もちろん死の点は見れない。

気 エア B (ラカンがA)

人に宿る生命のエネルギーを体内で燃焼させ、体の周りに放送出るスキル。

おおよそ拳闘大会優勝者の二倍。

射撃 アーチャー B (真名がC、アーチャー・ヒミヤがA)

狙撃、射撃、投擲術がほぼ百発百中になる。

翔はあまり銃を使わず、ほとんど投擲術を使う。

不老 アーチャー B

女神のオマケ。

不死はないので、致命傷を貰えれば死ぬ。

天賦の才 ギフト C

女神がくれたオマケ。

ほとんどのものを常人の二倍や三倍で身に着ける。

## 宝具

斬鉄剣 ランクA

ルパン三世の石川五エ門のアレ。

鉄に限らず、基本的に何でも斬れる宝具。

女神が無限の剣製アンリミテッド・ブレード・ワークスから拝借してきた。

アニメを見たら登録されたらしい。

蜻蛉切り ランクA

境界線上のホライゾンの本多・一代のアレ。

穂先に映した対象の名前を結び、割断する宝具。

女神が無限の剣製アンリミテッド・ブレード・ワークスから拝借してきた。

アニメを見たら登録されたらしい。

妖刀ひな ランクB

ラブひなの青山素子のアレ。

かつて京都を火の海に変え神鳴流を壊滅寸前まで追い込んだいわくつきの宝具。

翔は暗器使いのおかげで自由に使える。

女神が無限の剣製アンリミテッド・ブレード・ワークスから拝借してきた。

アニメを見たら登録されたらしい。

## 容姿

境界線上のホライゾンのトゥーサン・ネシンバラそのまま。魔眼の影響で目は碧眼になっている。

視力は悪くないが、普段は女神から貰った魔眼殺しをかけている。筋肉達磨の一歩前程度に筋肉をつけてるので、いい感じに引き締まつた究極の肉体美を持っている。

## 性格

基本その場の流れに身を任せること。

面倒くさがりだが、決めたことは最後までやる。凝り性。

零崎常識の能力を貰つた影響か、たまに殺人衝動が出るがなんとか抑えているので、ちょっとした切欠で殺人鬼になる。

正義も悪もなく、あるのはそれぞれの信念のみという考え方。

なので「正義の魔法使い」も「悪の魔法使い」もちょっとイラつく。

## 寸鉄殺人についてのレポート

かの有名な零崎一族最強の男の一いつ名にもなっている。彼の協力によつて解析にほぼ成功したといつていい。

この能力は生まれながらにして天賦の才を持つていた者が何らかの切欠で覚醒する“半後天性型”と超一流の暗殺者アサシンが一生を捧げるレベルの鍛錬と切欠で覚醒する“完全後天性型”の二つが確認されている。

以上のことから“寸鉄殺人”は“咸卦法”と並ぶ“究極技法”と評されることもある。

能力については、「戦闘方法」と称したほうがわかりやすいと思われる。

この能力を手に入れた者は、半自動的に“暗器使い（マジシャン）”と一種の“魔眼”を身に着ける。

これによりほぼ無死蔵に武器の寸鉄を“暗器使い（マジシャン）”により供給、“魔眼”により敵の急所・気や魔力の薄い箇所・術式の綻びを発見することが可能になる為、近距離戦ではほぼ無敵、中・遠距離戦でもこと防御・迎撃に関してはトップクラスに入る。

よつて能力者は敵の攻撃（氣弾や魔術・魔法、斬撃等）を破壊及び消滅させながら接近し近距離戦で無数の“寸鉄と暗器”（短刀・日本刀・野太刀・苦無・手裏剣・拳銃・手榴弾etc…）を使い捨てにしながら、敵の急所を狙う“常識型”、遠距離から敵の急所に寸鉄を投擲する“狙撃型”と敵に気づかれぬ

うちに瞬動術等で敵に接近し、寸鉄を急所に叩き込む“暗殺者型”の三通りの戦い方で敵と戦闘する。

また、“狙撃型”と“暗殺者型”は“常識型”と区別するため、“非常識型”と呼ばれる事もある。

以上より、この能力（戦闘方法）の保持者は非常に高い戦闘スキル（ころしかた）を身に着けるものと思われる。

これにて、一端“寸鉄殺人”についての報告を終了する。

余談だが、“寸鉄殺人”については、“彼”以外は一部の書物にしか存在せず、

“非常識型”はその書物に書かれていた所を意訳したものである。

また、“暗器使い”自体、習得するには、長い年月と才能が必要な“技術”である。

とある天使のレポート

## 寸鉄殺人についてのレポート（後書き）

寸鉄殺人の設定です。

色々な作品から設定を持ってきました。

作者の妄想なので、実際の零崎常識さんの戦い方は違うと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8067z/>

---

寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

2011年12月25日23時09分発行